



2015年12月フランス・パリで開かれた『国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)』で、地球温暖化に関する国際的な約束事がつくられたよ。これが「パリ協定」なんだ。

「パリ協定」では、19世紀後半の産業革命からの世界全体の平均気温上昇の目標温度が決められているよ、それは何℃かわかるかな？



- ① 0℃ ② 2℃ ③ 10℃



パリ協定は、地球温暖化の原因となる「温室効果ガス」の排出量を減らすために、先進国・開発途上国の区別なく、国ごとに目標を決め、目標達成に向けて取り組むことを決めた約束だよ。

産業革命後の世界全体の平均気温の上昇を、2℃より小さくすること、そのために21世紀後半には人間活動による温室効果ガスの排出量と自然の中で吸収される量を等しくし、実質ゼロにすることを目指しているんだ。そのためには、石炭や石油などの化石燃料をできるだけ使わない社会へ変えなければいけないね。

環境と共生のまちづくりセミナー ～自然の保全・再生と緑豊かなまちづくり～

福生は自然環境に恵まれたまちです。身近な自然の保全と再生についての取り組みを学び、緑豊かな潤いのあるまちづくりを考えてみませんか。環境活動の専門家が豊富な事例をもとに、「目からウロコ」と感じる楽しいお話をさせていただきます。ぜひご参加ください。

- ★日時：11月9日(土) 午前10時から正午まで
★場所：もくせい会館3階 301会議室
★講師：小泉秀機氏(福生加美上水公園自然塾塾長)、近藤富代子氏(福生萌芽会副会長)
★対象：市内在住・在勤・在学の方(定員25人)
★申込み：11月7日(木)までにふっさ環境市民会議(事務局・環境課環境係 ☎551-1718)へ

編集後記

台風15号から1か月以上経過しましたが、大規模停電に見舞われた地域の皆さんの復旧作業はどのくらい進み、通常の生活に戻れたでしょうか。振り返れば、9月7日から8日の深夜にかけて風が吹く音で目が覚め、公園の木々は今にも折れそうな状態。まさかあのような大規模停電、断水、通信の不通になるとは予想していませんでした。ライフラインが遮断される事態は他人事ではなく、私たちも普段から準備を心掛けておく必要があると再認識しました。(Y.O)

2019年11月発行 第47号

発行：かんきょう通信 市民編集部

事務局：福生市役所生活環境部環境課

TEL.042-551-1718(直通)

資源有効利用のため本紙は再生紙を使用しています

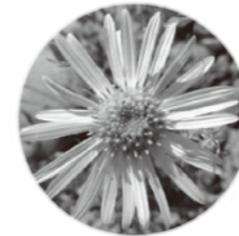
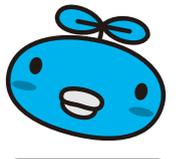


この印刷物は環境にやさしい「植物油インク」を使用しています。



「福生市は、環境保全に関する普及啓発のシンボルマークとして、かんきょう通信にエコマークを使用しています」

市民編集員 榎本宏美・エボエリコ・小野 豊 高森千夜子・田中俊朗・渡部綾子



知っていますか？福生の絶滅危惧種

カワラノギク



カワラノギクの開花個体

カワラノギクとは、石がごろごろした河原で育つキク科の草花で、かつては、現在の福生南公園ができた50年ほど前の多摩川や、他の地域の河原に群生していました。

しかし、急速に数を減らしたカワラノギクは、環境省が発行するレッドデータブックに、絶滅危惧II類(絶滅の危険が増大している種)として記されています。

現在では、多摩川、相模川、鬼怒川の3河川だけに確認されており、特に多摩川では河川環境の変化などにより急減してしまい、2018年には野生の開花個体はわずか8株のみとなりました。多摩川では、おもに福生の河原に残っているだけです。

かつては河原の自然を代表する植物であったカワラノギクを保全・復元することは、多摩川流域の自然生態系の保全につながると考えています。



保全活動の様子

カワラノギクの絶滅を回避するために、多摩川に残された生育地で市民・研究者・行政が協力して「多摩川カワラノギクプロジェクト」を進めています。

良好な生育環境の維持を目的として日陰となる低木や外来種を取り除く作業などを行う他、新たなカワラノギクの生育地を作るためカワラノギクのタネ蒔きを始めました。また、毎年、晩秋には現在の多摩川の生育地での開花状況調査なども行っています。

(文:NPO法人自然環境アカデミー 伊東 静一氏)

保全活動にご参加ください！

日時：11月9日(土) 午前9時30分から正午まで

集合場所：あきる野市総合グラウンド駐車場

内容：播種地モニタリング(種を蒔いた後の確認)

申込み締切：11月6日(水)

申込み・問合せ：NPO法人自然環境アカデミー【☎042-519-4394・FAX042-519-4395】





ふっさ花とみどりの会が 『みどりの愛護』功労者国土交通大臣表彰を受賞!

市内で緑化活動に取り組む「ふっさ花とみどりの会」が、花とみどりの愛護活動について評価され、「第30回『みどりの愛護』功労者国土交通大臣表彰」を受賞しました。

「ふっさ花とみどりの会」は、やなぎ通りや国道16号の花苗の植栽のほか、多摩川中央公園フラワーゾーンで植栽や除草作業を行い、春はチューリップ、秋はコスモスなどの季節の花を楽しめる美しいまちづくりに貢献しています。



「ふっさ花とみどりの会」では、市内をより花に満ちた美しいまちにするために、一緒に活動して下さるメンバーを募集しています。年齢性別は問いません。ご興味のある方はお気軽に事務局へご連絡ください。

【問合せ：ふっさ花とみどりの会事務局
(福生市環境課環境係)
☎042-551-1718・FAX042-552-9433】



多発する異常気象と気温上昇について考えよう!

2018年7月は台風や梅雨前線の影響により、西日本を中心に多くの地方で、記録的な大雨による被害が発生しました。今年も7月に記録的豪雨が九州北部を中心に観測され、被災者が避難生活を余儀なくされたほか、9月に関東に上陸した台風15号でも停電や断水により、人々の生活に支障を及ぼしました。

また、気温についても北海道では5月に39度を超え、東京都では8月に過去最多の猛暑日を観測し、多くの熱中症患者が搬送されました。

近年、異常気象や猛暑が続く原因の一つとして地球温暖化が影響していると考えられます。日本の2017年の平均気温は、20世紀の平均から0.86度高くなっており、今後温暖化対策をとらなかった場合、2100年の天気予報として、東京の最高気温が43度以上になるとの予測もあり、局地的な大雨や干ばつといった災害のほか、農作物が育たない等の食への影響も非常に心配されています。

現在、世界各地で地球温暖化対策に取り組んでいますが、一人ひとりが環境にやさしい選択をすることが温暖化防止に繋がるのです。



地域猫フォーラムのお知らせ

～行き場のない猫と共生するためのノウハウ～

日時：11月17日(日) 午前10時から正午まで

会場：もくせい会館 2階 202会議室

対象者：地域猫に関して興味がある方

主催：福生地域ネコの会

福生地域ネコの会では、飼い主のいない猫に対して去勢・不妊手術を行い、繁殖を抑制することで人と猫の調和のとれたまちづくりを目指しています。

今回は、そのような飼い主のいない猫のために何ができるのか、さらに一歩踏み込んで考えてみたいという皆様に対して、地域猫フォーラムを開催します。

- 保護猫を飼ってみたいがどうしたらいいのか? (譲り受け方法や飼育方法)
- 行き場のない猫を助けたいが、どのようなことができるのか?
- 地域で増えすぎた猫の繁殖を抑制するために少しでも貢献したい。
- 地域猫をとおして、命の大切さを改めて考えてみたい。
- 地域猫活動の会を立ち上げたいが、どのようなことから始めたらいいのか聞きたい。

このような皆様の考えを実現できるよう、福生地域ネコの会の会員と一緒に話をしてみませんか? 展示も行いますので、お気軽におこしください。【問合せ：環境課環境係 ☎551-1718】



情報提供をお願いします!!



アライグマ、ハクビシンは、昔から日本に生息していた在来種と違い、人により国外から日本国内に持ち込まれた外来種です。しかし、近年全国規模で分布が広がり、都内でも森林や河川敷だけでなく、私たちの生活する市街地にまで出没しています。

農水産物や建築物への被害だけでなく、人への感染症の媒体となる危険もあり、市ではこれら二種の防除を行っています。

ハクビシン

- ・顔中央に白いスジ
- ・しっぽが長く細い、足は短い
- ・スリムな体形で細いフェンス上も歩く
- ・雨どいなどに足跡(肉球)が残りやすい



アライグマ

- ・しっぽが縞模様
- ・中型犬程の大きさ(70~90cm)
- ・木登りが得意で、家の柱などに爪痕が残りやすい



市では定点捕獲に加え、平成30年度から市民対応の捕獲を行い、平成25年度以降、アライグマ・ハクビシンの目撃、痕跡、被害情報などは150件以上にのぼります。

今後ともなにか、情報がありましたらお気軽に御連絡ください。

【問合せ：環境課環境係 ☎551-1718】